

平成18年3月22日
原子力安全対策課
(17-116)
<22時記者発表>

大飯発電所3・4号機 廃棄物処理建屋内での火災報知器の動作

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

大飯発電所3、4号機(加圧水型軽水炉;3,4号機ともに定格電気出力118.0万kW)の廃棄物処理建屋内において、本日18時40分頃、火災報知器が動作した。直ちに現場を確認した結果、建屋のエレベーター出口に煙が充満しており、防火扉が動作していることが判明した。

当時、同建屋内にいた作業員3名のうち2名が煙を吸ったと思われるため、病院に搬送した。また、大飯発電所3号機は定格熱出力一定運転中で大飯4号機は定格熱出力で調整運転中であるが、プラントへの影響はなく、環境への放射能の影響もない。

その後、現場に立ち入って状況を確認したところ、20時15分にフィルターバルブ室の中2階で火を確認したため、消火器で消火作業を行った。

問い合わせ先(担当：伊藤) 内線2353・直通0776(20)0314
--